第 11 回：2011 年 10 月 2 日 (日)

競技コースレイアウト案（20110328版）

1　コース説明

コース路面には、幅 0.45, 0.9, 1.35m の緑色シートを使用します。
ラインは幅 18mm の黒色ビニールテープです。
図 1 にコースレイアウトを示します。(ただし、a=225mm)

ライントレース　ラインに沿って走行します。
ショートカット防止のため、1 点鎖線部に障害物を設置します。
この障害物は、距離センサが反応する大きさです。

迷いの森　1.35m × 3m の領域です。
入り口に，内寸法が幅 40cm, 高さ 40cm のゲートがあります。
直径 12.5cm, 高さ 15cm 程度の障害物があります。
この障害物を避けて走行します。
直径 30cm の円盤が通過できる走行域が確保されています。

空き缶運び　空き缶を指定された場所に運びます。
ゴール方向を示すガイドテープが路面にあります。

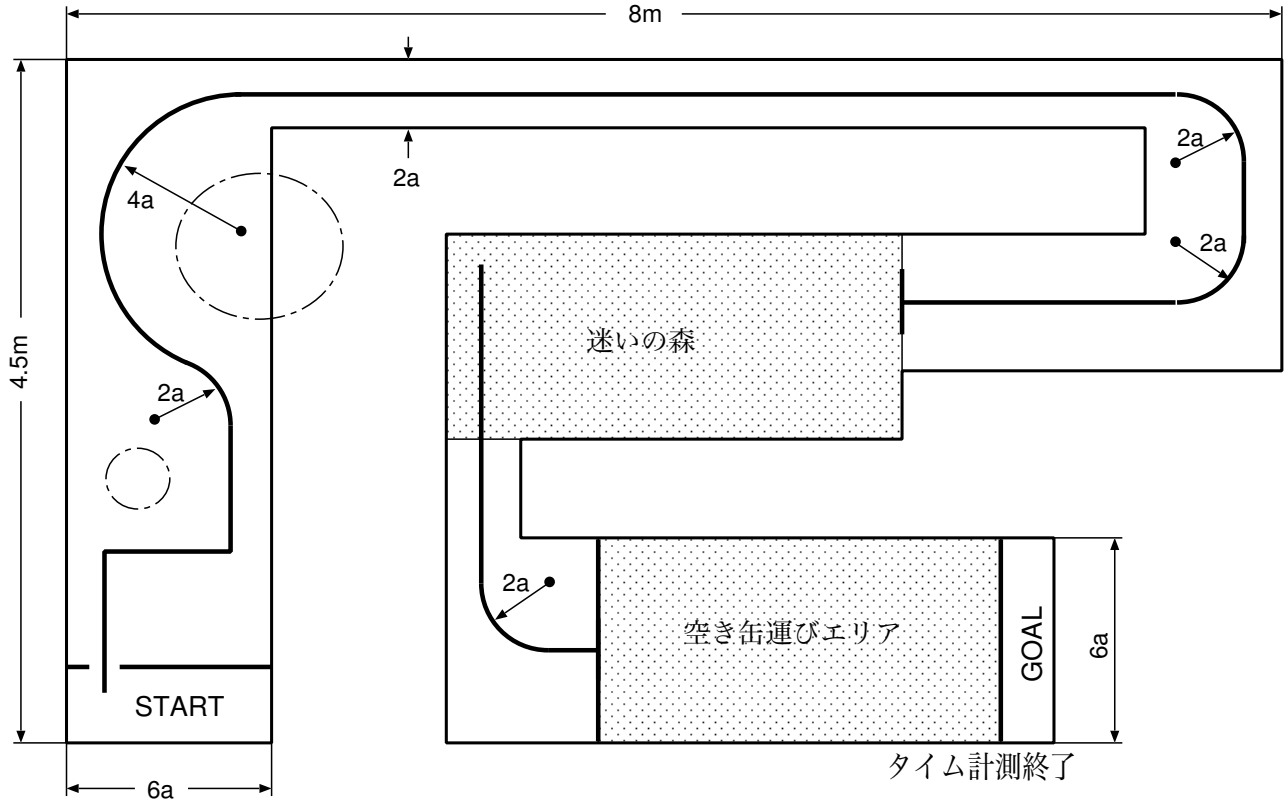

図 1: 競技コースレイアウト (案)

2　迷いの森

【レイアウト】　迷いの森のレイアウト (例) を図 2 に示します。　障害物の正確な位置は不明です。

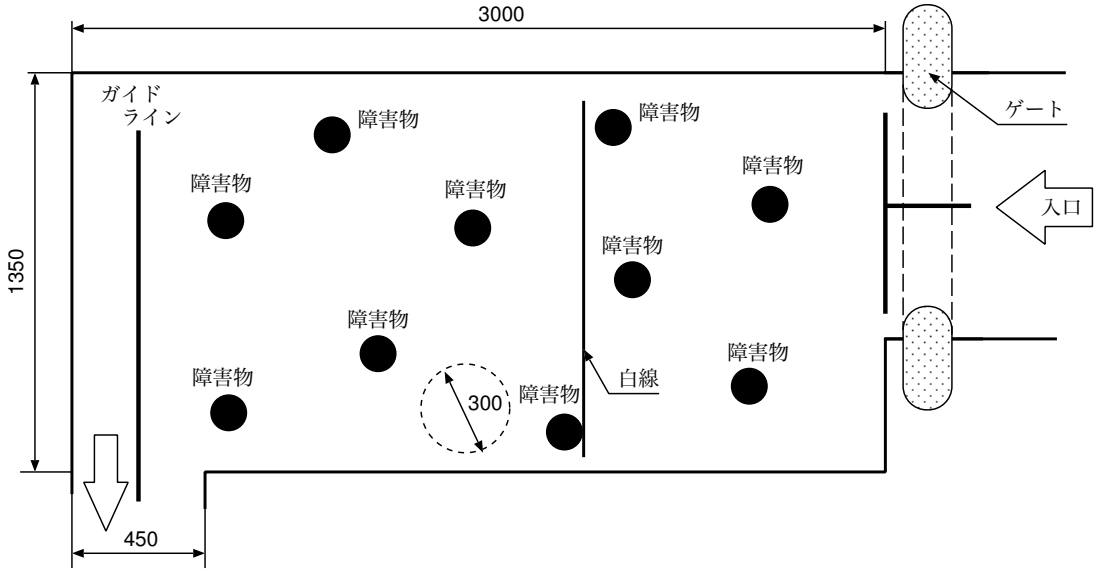

図 2: 迷いの森レイアウト

【ゲート】　迷いの森の入り口に設置します。

- ゲート内寸法は幅 40cm、高さ 40cm。

【障害物】　障害物は、全て同じ形状です。

- 直径 125mm、高さ 150mm。
- 表面は黄色に塗装されています。
- 標準ロボットが障害物を動かしたり、持ち上げることのできない程度の重量です。

【救助ライン】

エリア内の白ラインを通過した後であれば、迷いロボットを助けることができます、ただし相応のペナルティがあります。

図 3: 障害物

3　空き缶運び

【空き缶】

- 形状を図 4 に示します。
- 材質はスチール、重量は 70g で、色は白です。

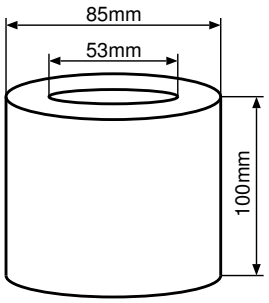

図 4: 空き缶の形状

【空き缶の初期位置と空き缶置き場の配置】

- 空き缶は競技コートの右側と左側の白テープで囲まれた領域に各 5 個置かれています。
- 空き缶置き場はエリアの左右に設置されます。
- 空き缶を置き場 (A) では枠内に、置き場 (B) では台上に運びます。
- 空き缶と空き缶置き場の位置およびゴール方向の目安を示すため、ガイドテープを路面に貼ります。

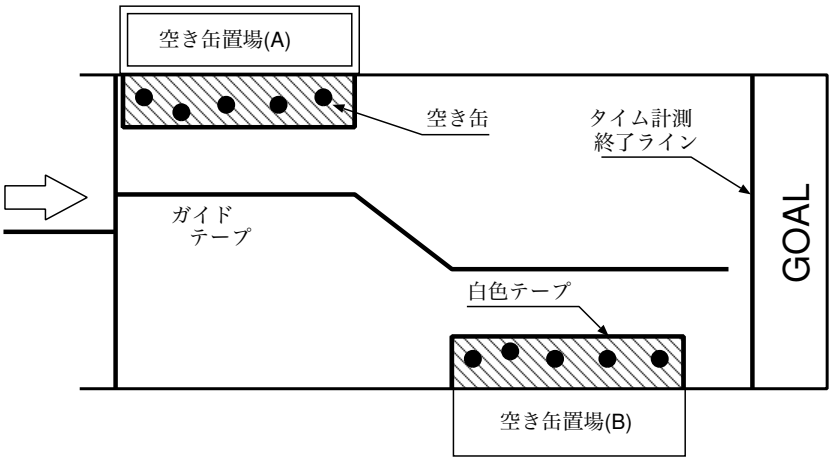

図 5: ガイドテープと空き缶 (初期配置) および空き缶置き場

【空き缶置き場の形状】)

- 空き缶置き場 (A),(B) の形状を下図に示します。

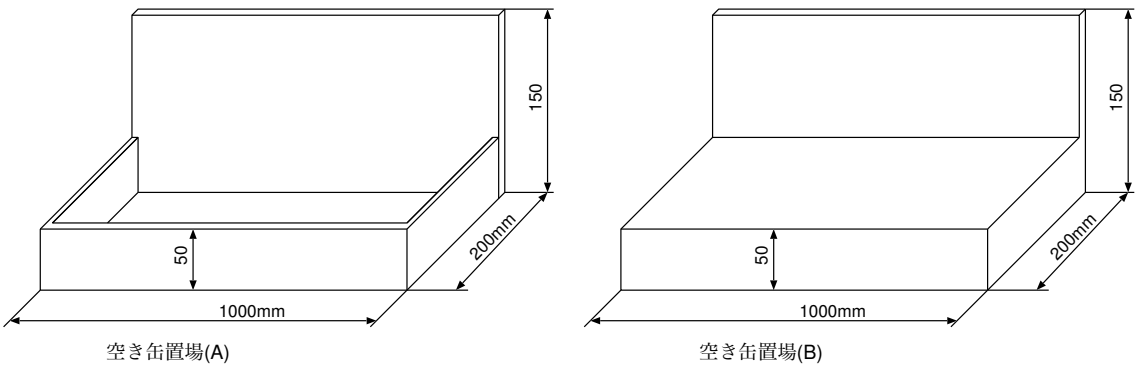

図 6: 空き缶置き場の形状

4　補足説明

3 種目の競技について説明しましたが、以下の点はまだ確定していません。

競技コース全体のレイアウト

競技会場によって全体のレイアウトや大きさ、あるいはライントレースのライン形状が変わります。

競技ルール (得点の算出方法)

各競技における得点の算出については、決まり次第お知らせします。